

## 開催要項

# 森と自然の育ちと学び フォーラム 2025 in 長野

森自然を活用した保育・幼児教育の取組を発展させるため、全国の加盟自治体・関係者の他、自然保育に関する研究者・自然保育に関心のある方等の交流や学び合いの場とすることを目的として標記フォーラムを今年度は長野県で開催します。

**開催日時** 令和7年 10月 9日（木）13:30～17:30（受付 13:00～）  
10月 10日（金） 9:30～12:00（受付 9:00～）

## 会 場

**参加費** 無料



**1日目** 10月9日（木）13:30～17:30（受付 13:00～）  
長野市生涯学習センター（TOIGO トイゴ4階）（長野市鶴賀問御所 1200）(026) 233-8080

**2日目** 10月10日（金）9:30～12:00（受付 9:00～）

- 1コース こどもの森幼稚園（長野市上ヶ屋 2471-2554）
  - 2コース 長野市とがくし保育園（長野市戸隠豊岡 1541）
  - 3コース 上田短期大学附属幼稚園（上田市下之郷乙 602）
- ※ 各園へは最寄駅からの送迎バス等を用意します。

## 参加対象者

- ・自治体ネットワーク加盟の職員及び保育関係者
- ・自然保育に関心のある方（保育者及び保育関係者、保育者養成校等の関係者及び学生、研究者、保護者、等）

## 申込方法

○ネットワーク加盟自治体：【加盟自治体職員用参加申込用紙】をご提出ください。

○その他、自然保育に関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

：メール又はFAXで【参加申込用紙（保育幼児教育関係者、一般用）】にて申込むか  
(メールアドレス) [katei-shien@pref.nagano.lg.jp](mailto:katei-shien@pref.nagano.lg.jp) (FAX) 026-235-7390

：QRコードから、又は、URLよりお申込みください。

**申込 URL** [https://apply.e-tumo.jp/pref-nagano-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=60348](https://apply.e-tumo.jp/pref-nagano-u/offer/offerList_detail?tempSeq=60348)

## 定 員

1日目 150名程度

2日目 各 20名程度



- \* 2日間両日参加・1日のみ参加・2日のみ参加のいずれも申込みを受け付けます。
- \* 1日目のプログラム5の講座、プログラム6の分科会は、いずれか一つのご参加となります。希望する番号（6は第3希望まで）を記入又は入力してください。希望が多い場合は調整させていただきます。**申込 QR コード**
- \* 2日目の参加は、基本的には1日目に参加を希望された方から優先します。  
定員になり次第、締め切れますのでご了承ください。

**申込期限** 令和7年9月18日（木）締め切り追加しました  
※切以後もご希望の方は下記連絡先へご連絡ください

こちらのサイトから長野県内のやまほいく認定園が検索できます。

- ・ポータルサイト「信州やまほいくの郷」  
<https://www.shizenhoiku.jp/>

**主 催** 森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク  
(事務局 長野県県民文化部こども若者局こども・家庭課)

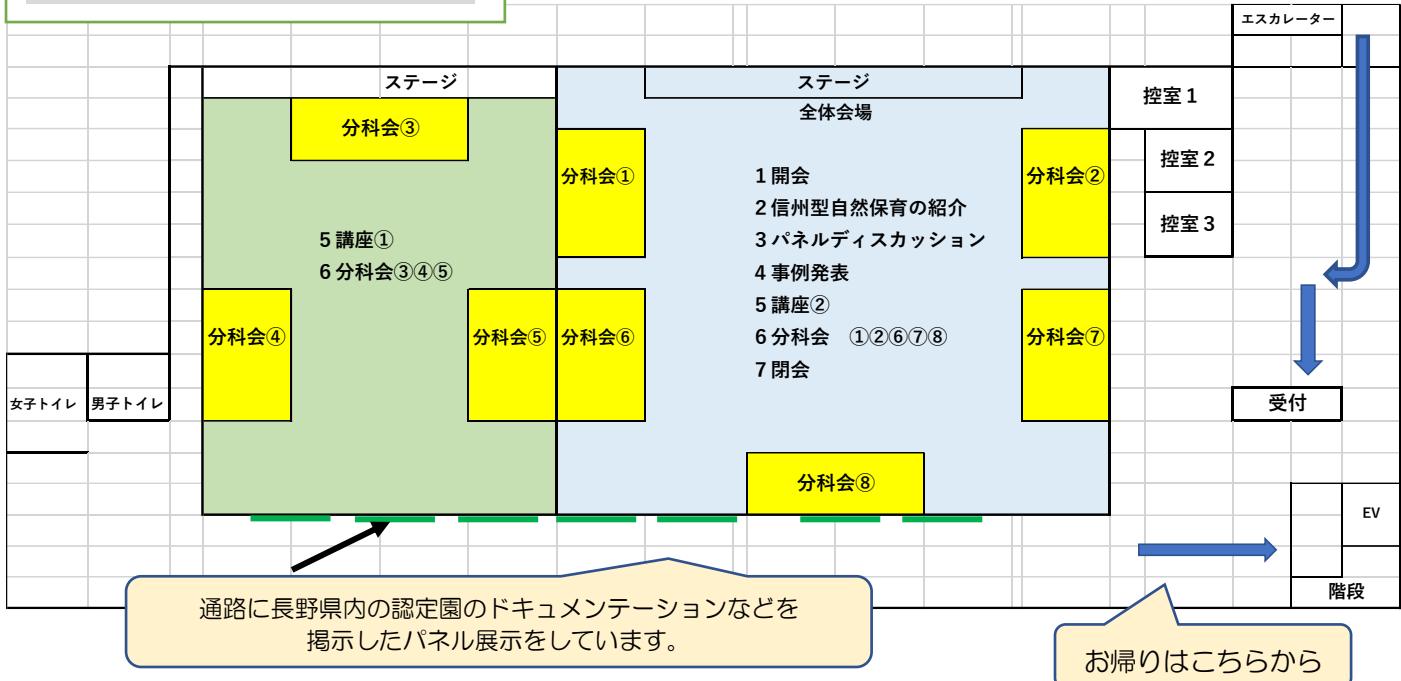
TEL 026-235-7147 Mail : [katei-shien@pref.nagano.lg.jp](mailto:katei-shien@pref.nagano.lg.jp)

**後 援** (案) 日本自然保育学会 長野県野外保育連盟 長野県保育連盟 長野県私立幼稚園・認定こども園協会

<1日目 プログラム 日程及び内容> 10月9日(木)受付13:00~ 全体会

1 開会 挨拶 長野県知事 阿部 守一	13:30~13:35
2 信州型自然保育(信州やまほいく)認定制度の紹介	13:35~13:45
3 パネルディスカッション テーマ「幼児期の子どもたちに自然保育は何をもたらしてくれるのか」 ～ 生きる力を育む信州やまほいくの子どもの育ち、その先の幼保小接続へ ～	13:50~14:35
■ コーディネーター 日本自然保育学会会長 上越教育大学大学院教授 ■ パネリスト 長野県野外保育連盟理事長(特化型認定園 みつけ・ささら園長) 伊那市高遠第2・第3保育園園長(公立園 特化型認定園) 安曇野市立明南小学校校長 長野県知事	山口美和 氏 内田幸一 氏 下島直美 氏 山口敬之 氏 阿部守一 氏
4 森と自然の育ちと学びを推進する県内外の事例発表 ① 長野県下伊那郡喬木村の取組 「保育園と行政が連携して新たな森のフィールドをデザイン～森は新たな保小接続の活用を見据えて～」 たかぎ保育園園長 福島知恵氏 喬木村教育委員会 小金澤侑矢氏 長坂亮介氏	14:40~15:20
② 広島県の認証制度と東広島市の取組 「自然保育推進アドバイザーと創る自然保育環境づくり ～大人も子どももとことんあそび豊かに育つこころとからだ～」 広島県健康福祉局安心保育推進課 梶谷有優香氏 東広島市保育課(前東広島市立中黒瀬保育所所長) 村瀬文女氏	
休憩(15分)	
5 自然保育講座(講演及びワークショップなど) 参加はどちらかを選択	15:35 ~16:25
<講座①> 「森について学ぶ 自然保育に役立つワークショップ」 やまぼうし自然学校代表理事 森林ライフプロデューサー 加々美貴代 氏	<講座②> 「ツキノワグマの生態と自然体験活動に おけるリスクマネジメント～正しく恐れる～」 NPO法人信州ツキノワグマ研究会副理事長 けもの調査室代表 長野県クマ対策員 瀧井暁子 氏
移動(5分)	
6 分科会「多様な自然保育の実践から学び合いましょう」	16:30 ~17:25
【分科会①】「自然保育とインクルーシブ」～自然の中で共に育ちあう子どもたち「安曇野市」～ 安曇野市こども園幼稚園課課長 佐々木真貴氏 係長 大堀正人氏 有明あおぞら認定こども園園長 宮尾早苗氏 上川手認定こども園主任 松澤章氏	
【分科会②】「地域と共に子どもを豊かに育む」「いいだ型自然保育」～里山で育つ子ども達～ 飯田市こども未来健康部保育指導専門主幹 上沼佳子氏 認定こども園千代保育園園長 澤田裕子氏	
【分科会③】「市街地でも自然保育」～街中でも「信州やまほいく」実践しています「長野市後町保育園」～ 長野市保育・幼稚園課保育アドバイザー 上原美知子氏 後町保育園園長 佐藤みちよ氏 山王保育園保育主任 藤沢理絵氏	
【分科会④】「移住者にとっての自然保育」～地域と移住者がつながる「認定こども園野あそび保育ささら」～ 認定こども園野あそび保育ささら園長 内田幸一氏 保育士 石川昌穂氏	
【分科会⑤】「自然保育で食育を考える」～暮らしの中の「食」を考える「認定こども園ちいろばの杜」～ 認定こども園ちいろばの杜園長 内保 亘氏 調理スタッフ 高橋三和氏	
【分科会⑥】「しば・うみやま保育の実践」～“海保育”的魅力とその中で育まれることもの姿～ 千葉県健康福祉部子育て支援課 園生裕佑氏 森のようちえんはっぴー代表 沼倉幸子氏	
【分科会⑦】「学生が描く「やまほいく」新たなステージへ～研究や実践を通して～」 清泉大学短期大学部こども学科 教授 離井幸子氏、学生の皆さん 長野県短期大学名誉教授 上原貴夫氏、長野大学学生の皆さんなど(ながの県森と自然の保育園)	
【分科会⑧】「信州やまほいく認定園(276園回答)のアンケート結果から見えてきた自然保育の多様な効果」 長野県こども・家庭課係長 児玉 理 日本自然保育学会保育環境ワーキング 木俣知大氏 菊池 稔氏	
7 閉会 挨拶 県民文化部こども若者局長 酒井 和幸	17:25~17:30

## 会場図 長野市生涯学習センター



<2日目 日程及び内容> 10/10 (金) 9:30~12:00 園参観とフィールド視察

申込では、下記の3コースの中から1希望、2希望を選んで記載してください。

1・2コースは、朝8:30に長野駅東口から、3コースは、朝8:30に上田駅温泉口からバスまたはジャンボタクシーが出ます。参観園へ直接向かって現地集合されても構いません。

### 1コース こどもの森幼稚園 (特化型認定園 私立園・長野市) 園長 仁科里佳子氏

住所：長野市上ヶ屋 2471-2554 ☎ 026-239-3302

園参観、園説明、バスで飯綱高原、戸隠高原の園のフィールドの参観  
(説明・フィールド案内 副園長 宮崎 温氏)



標高1,050mの飯綱高原に位置し、周囲を山、川、森に囲まれた豊かな自然の中にある園です。園庭には、自然のままの沢、林、野原があり、子どもたちは、四季を感じながら、自然の中で自らの五感をフルに働かせ、様々なものに興味や関心、楽しみを持つことを大切にし、全ての命を感じています。子どもたちが創造力を働かせて実体験を通した友だちと遊びの中の学びを大切にしている幼稚園です。

### 2コース 長野市とかくし保育園 (普及型認定園 公立園・長野市) 園長 吉池玲子氏

住所：長野市戸隠豊岡 1541 ☎ 026-254-3393

園参観、園説明、戸隠の自然や地域の文化視察  
(地域案内 長野市戸隠地質化石博物館研究員 田辺智隆氏)



【好きな遊びを見つける子ども・故郷戸隠を大好きになる子ども】を園目標に掲げ、園外では自然物を使って遊んだり、地域の方と触れ合ったりすることを大切にしています。戸隠の歴史や文化を取り入れ、楽しみながら故郷戸隠に親しみを持てるようにしています。自然の中で友達と関わりながら遊び、子ども達の「健康な体」「自由な発想力や豊かな感性」を育んでいます。

### 3コース 上田短期大学附属幼稚園 (普及型認定園 私立園・上田市) 園長 新増由香氏

住所：上田市下之郷乙 602 ☎ 0268-38-5996

園参観、園説明、園の裏山の環境設定等の視察(裏山説明・案内 園長他)

【あそび=まなび 森とおやまの幼稚園】澄んだ空気、鳥や虫の声、葉っぱや土の匂い、色とりどりの花や木々の葉、ツルツルした石、でこぼこした地面など自然豊かな環境の裏山が園に隣接しています。ここで子どもたちは、幼児期の成長に欠かすことができない『実体験』を積み重ねています。裏山の環境づくりは「やまんばの森づくりプロジェクト」として保護者や卒園児・地域の方の協力も得ており、変化し続けています。



## パネルディスカッション 登壇者紹介

コーディネーター 山口美和氏



パリスト 内田幸一氏



下島直美氏



山口敬之氏



阿部守一氏



**山口美和氏** 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 日本自然保育学会会長 長野市教育委員  
長野県「信州型自然保育認定制度」、奈良県「奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度」の検討委員として創設に携わりつつ、全国の認定・認証制度等の効果・影響に関する実証的研究を行っている。

**内田幸一氏** 長野県野外保育連盟理事長 認定こども園野あそび保育みっけ（飯田市）同ささらはら（茅野市）  
園長 NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟初代理事長。1983年に長野県飯綱高原に日本で初めての「森のようちえん」を設立。日本における「森のようちえん」の第一人者。

**下島直美氏** 伊那市の公立園、高遠第2・第3保育園の園長として7年目。地域と行政の支援で特色ある園として信州やまほいく特化型の認定を受け、8年目。園舎の裏には子どもたちの大好きな裏山があり毎日出かけて様々な遊びを子ども達と楽しんでいる。現在、園舎建て替え中であり、約30名のほとんどが移住の園児が通園。

**山口敬之氏** 安曇野市立明南小学校校長 元県総合教育センター専門主事（理科 総合的な学習 生活科）及び信大附属幼稚園勤務。明南小は明北小、明科中の3校合同で、県教委推進の「ウェルビーイング実践校 TOCO-TON」の指定を受け「チャレンジと探究で『ふるさと明科』を中心に刻む明科教育」をテーマに、保小中高連携に取り組み始めている。

**阿部守一氏** 2010年より長野県知事 2018年、鳥取県知事、広島県知事とともに発起人となり、森と自然の育ちと学び自治体ネットワークを設立。11年前に信州やまほいく認定制度を創設し、特色ある保育・幼児教育を掲げ、魅力ある子育て長野県を県内外に発信している。

### 事例発表 内容紹介

#### 【長野県喬木村の事例】



#### 保育園と行政が連携して新たな森のフィールドをデザイン～森は新たな保小接続の活用を見据えて～

喬木村は長野県南部に位置する人口約6千人の小さな村です。昨年、小学校の裏手にある未利用地となった雑木林を全て伐採し、子どもたちの遊び場とする計画を進めていますが、保育園が「子どもたちが自然と触れ合うことができる自然保育フィールドが欲しい」と教育委員会に訴えかけたことから、当初の計画を変更しました。保育園と行政が連携して森林をデザインし、県の森林税活用事業(フィールド等整備事業)等を申請してフィールド整備を行い、子どもたちと保育士との活動が始まりました。

そして、子どもたちが共に楽しんで活動できる保小接続のフィールドとしての活用も考えています。

#### 【広島県東広島市の事例】

#### 自然保育推進アドバイザーと創る自然保育環境づくり～大人も子どももとことんあそび豊かに育つこころとからだ～

広島県では、自然体験活動を計画的・継続的に取り入れている団体を県独自の基準で認証しており、令和7年4月1日時点で、75団体が認証を受けています。今回は、県内市町の中でも特に自然保育の広がりを見せている東広島市の公立園での取り組みについてお話をします。

東広島市では、「ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン」を策定し、目標達成に向けた取り組みの一つとして、広島県の「ひろしま自然保育認証制度」を活用しています。公立施設のそれぞれの特色や地域資源を取り入れながら自然保育を広げていくために、自然保育推進アドバイザーさんとの学びを活かし、子どもの豊かな体験を保障する保育環境づくりを行っています。

### 自然保育講座 講師紹介 （講座は申込時にどちらかを選択して参加してください）

＜講座①＞ 「森について学ぶ  
自然保育に役立つワークショップ」

**加々美貴代氏** NPO法人やまぼうし自然学校代表理事  
森林ライフプロデューサー  
事務局所在地：上田市菅平

幼い頃から野山を好み、大学で林学を専攻。  
やまぼうし自然学校は、長野県の菅平高原に本部を置き、「センス・オブ・ワンダー」(自然の神秘さや不思議さに感動する感性)を心に人と森とをつなぐ活動をして25年。  
小学生・幼児向けプログラムは、～遊ぶことは生きること～をテーマに、四季を通して子どもたちが主役になって森で遊ぶ活動を通して、楽しむ力・感じる力・協調性を育むお手伝いをしています。  
講座では、森の話をしながら、明日の保育に役立つワークショップを行います。



＜講座②＞ 「ツキノワグマの生態と自然体験活動におけるリスクマネジメント～正しく恐れる～」

**瀧井暁子氏** NPO法人信州ツキノワグマ研究会副理事長  
けもの調査室代表 長野県クマ対策員  
博士（農学）伊那市在住

専門はニホンジカとツキノワグマの生態と対策。主に伊那谷におけるツキノワグマの生態等について調査研究。長野県のクマ対策員として各地の出没現場の調査・対策の助言、人身事故の現場検証を行う。

普及啓発活動を行っており、昨年度、認定園313園に、絵本「信州版森の子クマの子」を寄贈。クマの行動や生態に対する正しい理解、リスクマネジメントなどについて県内の園や小学校で出張授業をしている。当講座では、クマの毛皮、食べ物、糞など展示し、講座の後、クマに対する質問や心配事などにお答えします。



## 分科会 各分科会の事例発表の内容紹介 「多様な自然保育の実践から学び合いましょう」

### 【分科会①】「自然保育とインクルーシブ」

～自然の中で共に育ちあう子ども達～

安曇野市こども園幼稚園課 上川手認定こども園

安曇野市は、長野県が進める「信州やまほいく」に賛同し、自然保育で育まれる子どもたちの“心の動き”を感じながら保育をしています。子どもたちが「発見、興味、意欲など」を自然から学び育てられていることを実感しています。

特に、上川手認定こども園は、園の裏山がフィールドとなっ

ていて、子どもたちが山を駆け巡ることができる環境に恵まれた園です。また、異年齢保育、多様性に併せた保育を実施しているため、自然保育の中で共に育つ子どもたちの姿が見られます。

子どもたちの遊びの様子や、心の動きと一緒に共有し、語り合えたらと思います。



### 【分科会③】「市街地でも自然保育」

～街中でも“信州やまほいく”実践しています～

長野市保育・幼稚園課 長野市後町保育園

後町保育園は、駅から善光寺へ向かう中央通りや官公庁、企業などのビルが立ち並ぶ市街地の中にある公立の保育園です。しかし、「自然が少ないからこそ子どもたちに自然の豊かさを感じほしい」と願い、信州やまほいくの認定を取りました。

保育士が園を飛び出し、子ども達の笑顔を思い浮かべながら、公園などの自然環境を調べてマップを作り、子ども達を連れ出しました。ないと思っていた自然は様々な場所で見つかり、自然での遊びがどんどん広がっています。

### 【分科会⑤】「自然保育で食育を考える」

～暮らしの中の「食」を考える～

認定こども園 ちいしばの杜

ちいしばの杜では、「暮らしをつくる」をテーマとしています。そして「食」については、ここに「暮らす」一人ひとりの「命」を考える上でとても重要なことだと考えています。

今の時代を生きる人々が失いつつあるもの、それは自分が生かされているという感覚であり、生かされる「暮らしの場」であり、それを自らの手と足で感じていこうとする心の構えです。私たちが「暮らす場」において、私たちの暮らしの必然性は何だろう?自らの命を支えるものは何だろう?そこに目を向けていく先に、私たちなりの「暮らしの文化」が自ずと生まれてくると信じています。そして、必然的な「食」こそ、「暮らし」の土台を担っています。当たり前になりすぎている「食」について、改めて見つめ直し、「食」の実践と課題と、これからをこの分科会で考えあいたいと思います。

### 【分科会⑦】「学生が描く信州やまほいく新たな

ステージへ～やまほいくの研究や実践を通して～

清泉大学短期大学部こども学科学生の皆さん

長野大学学生の皆さんなど

信州で学ぶ学生たちが、授業で学び、テーマを基に調査したことについて当分科会で研究発表を行い、そこから次世代を担う学生たちが描いた「信州やまほいく」への思いを語ります。また、豊かな自然環境の中で学生たちが継続的に子どもと共に体験活動する中で感じた、子どもの多様な育ちや「やまほいく」の新たな機能や役割について語ります。

そして、信州のそれぞれの大学で学ぶ学生が、柔らかな感性で受け止める「やまほいく」の未来へ描く夢や新たなステージについて語ります。



### 【分科会②】「地域と共に子どもを豊かに育む

「いいだ型自然保育」～里山で育つ子ども達～

飯田市こども未来健康部 認定こども園千代保育園

飯田市は、古くから東西の日本を結ぶ文化の回廊の要衝地として栄え、人々の進取性と学究性に富んだ気質は、古層の文化を伝え、残しながらも新しい文化をいち早く取り入れて、特色的ある文化を築いてきました。「飯田」の語源「結いの心」が大切に受け継がれ、互助・共助の精神が深く息づいています。保育園等では、恵まれた自然と地域資源を活用しながら、豊かな心とたくましい身体、自己肯定感と協調性を育む「いいだ型自然保育」を推進しています。「地域の子どもは地域で守り育てる」という自治意識も高く、地域密着型の自然体験や食農体験、地域行事への参加など、地域と保育園等の歴史を積み重ねてきました。子ども達がふるさとの愛着を感じ、主体的に未来を創造していく力を持つ力を地域と共に育んでいます。

### 【分科会④】「移住者にとっての自然保育」

～地域と移住者がつながる認定こども園～

認定こども園 野あそび保育ささら

元々は公立の保育園だった園が民営化に移行され、私立園となり5年目を迎えました。移行前は5名だった在園児数も現在は29名となり、笛原地区に限らず広域から登園する子が大きな割合を占めています。移住者や他地域から子どもを園に通わせる保護者にとって、野外保育にはどんな魅力があるのでしょうか?また地域にとって野外保育の園があることはどんなメリットがあるのでしょうか?保護者や地域の方の実際の声を元に、移住者と地域にとっての自然保育を考えたいと思います。

### 【分科会⑥】「ちば・うみやま保育の実践」

～“海保育”的魅力とその中で育まれることの姿～

千葉県健康福祉部子育て支援課

一般社団法人 森のようちえんはっぴー

千葉県では、身近な緑地、海や里山などで自然体験活動に取り組む団体を応援する、千葉県自然環境保育認証制度(ちば・うみやま保育)を実施しています。今年度は認証制度創設から3年目を迎え、139団体が認証団体になりました。

本分科会では、令和5年度に重点型の認証を受け、南房総の豊かな自然で活動する「森のようちえんはっぴー」の実践から、“海保育”的魅力とその中で育まれることの姿をご紹介します。山や森の保育と共に通する想いや価値観を土台に、それぞれの自然がもたらす多様な学びに目を向けていきたいと思います。



### 【分科会⑧】「信州やまほいく認定園(276園回答)の

アンケート結果から見えてきた自然保育の多様な効果」

～“10の姿”への効果、保育環境等の効果、地域活性、

移住促進による園児や保育者の確保まで～

長野県県民文化部こども若者局こども・家庭課

日本自然保育学会保育環境ワーキング

信州型自然保育認定制度の創設10年の節目を迎えた令和7年2月、自然保育の教育的効果・社会的効果を検証するため認定園313園を対象にアンケートを行いました。

子どもの“10の姿”への効果に加え、保育者の働きやすさ、園の特色化による保育者の確保、移住促進による園児の確保など、多様な教育的効果・社会的効果等、大変興味深いが見えてきました。そこで、調査結果からこれからの自然保育の可能性を考えたいと思います。

長野市生涯学習センター（TOiGO）へのアクセス



## 【駐車場のご案内】

お車での参加の方は、駐車料金が実費になります。

トイーゴの道を挟んだ向かい側に  
トイーゴ専用駐車場「TOIGO パークィング」があります。

1時間 200円

トーゴ駐車場利用の参加者は、お帰りの際に3階の事務室窓口で駐車券のパンチをすると、1時間分の200円が割引になります。

その他、トイーゴの近隣に駐車場が点在していますので、ご利用ください。



# こどもまんなか

みんなでつくろう！こども・子育てに優しい信州

安曇野市立明南小学校

安曇野市

# 安曇野市立 上川手認定こども園

認定こども園  
野遊び保育みつけ

飯田市

認定こども園千代保育園



しあわせ信州  
山々と暮らす心地よい町

長野市とがくし保育園

こどもの森幼稚園

長野市後町保育園

上田短大附属幼稚園

認定こども園  
ちいろばの杜

認定こども園  
野あそび保育ささはら

伊那市高遠第2・第3保育園

・糸木村たかぎ保育園

広島県東広島市



千葉県  
森のようちえん  
はつぱー

【閻倉甘牛】

【問合せ先】  
長野県県民文化部こども若者局こども・家庭課 担当 児玉 堀内 藤田  
電話番号:026-235-7147 mail:katei-shien@pref.nagano.lg.jp